

海の路

Vol. 35

S E A R O A D 2 0 2 3

S E A R O A D 2 0 2 3

会員構成

大阪ブロック

大阪府 泉佐野市
大阪府 泉南市
堺市 阪南市
岸和田市 忠岡町
泉大津市 田尻町
貝塚市 岬町
高石市

徳島ブロック

徳島県 小松島市
徳島市 阿南市
鳴門市 松茂町

香川ブロック

香川県 三豊市
高松市 土庄町
丸亀市 小豆島町
坂出市 直島町
観音寺市 宇多津町
さぬき市 多度津町
東かがわ市

兵庫ブロック

兵庫県 相生市
神戸市 加古川市
姫路市 赤穂市
尼崎市 高砂市
明石市 南あわじ市
西宮市 淡路市
洲本市 たつの市
芦屋市 播磨町

愛媛ブロック

愛媛県 伊予市
松山市 四国中央市
今治市 西予市
宇和島市 上島町
八幡浜市 松前町
新居浜市 伊方町
西条市 愛南町
大洲市

和歌山ブロック

和歌山県 湯浅町
和歌山市 広川町
海南市 日高町
有田市 由良町

周防灘ブロック (山口・福岡・大分)

岡山ブロック

岡山県 笠岡市
岡山市 備前市
倉敷市 瀬戸内市
玉野市 浅口市

山口県 福岡県
下関市 北九州市
宇部市 刈田町
山口市 大分県
防府市 大分市
岩国市 別府市
光市 佐伯市
柳井市 中津市
周南市 臼杵市
山陽小野田市 津久見市
周防大島町 国東市
上関町 姫島村
平生町

広島ブロック

広島県 大竹市
広島市 東広島市
呉市 廿日市市
竹原市 江田島市
三原市 海田町
尾道市 坂町
福山市 大崎上島町

国会員

近畿地方整備局 九州地方整備局 中国運輸局
中国地方整備局 近畿運輸局 四国運輸局
四国地方整備局 神戸運輸監理部 九州運輸局

協議会Webサイト「海の路」



<https://www.uminet.jp>



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

大崎上島(広島県)

海の路 Vol. 35

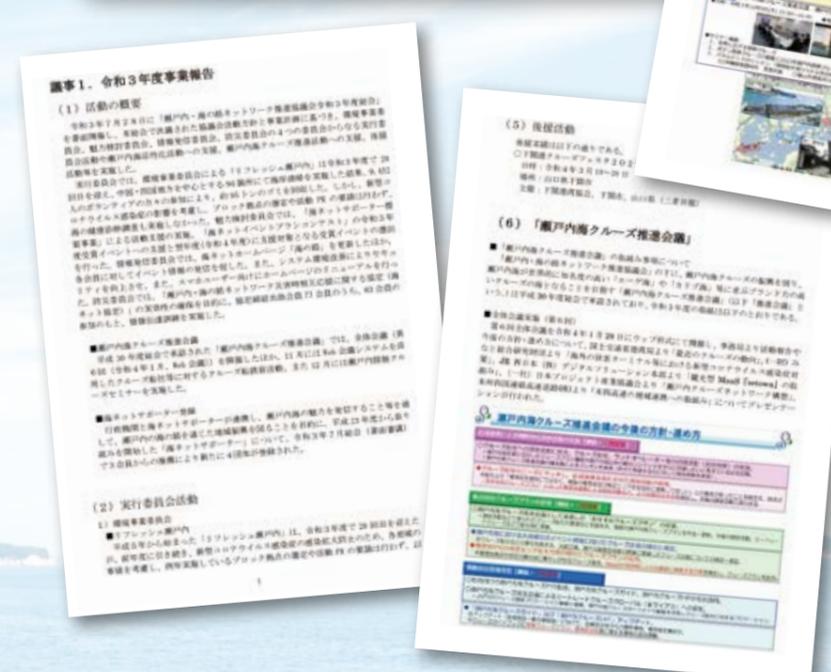
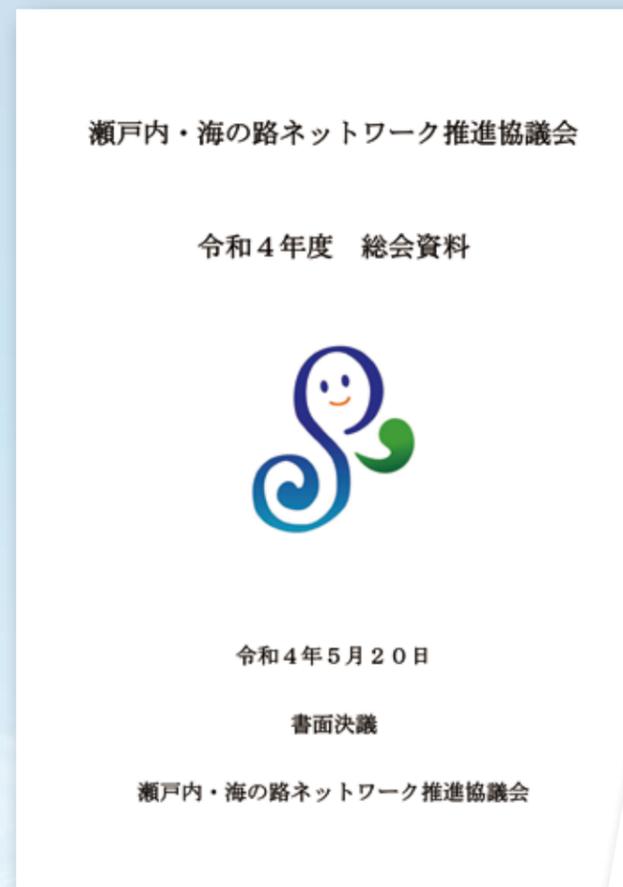
瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

発行/瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局
協議会Webサイト「海の路」<https://www.uminet.jp>

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 総会・担当者会

令和4年度総会

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
令和4年度総会は新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため、令和4年5月20日、書面
にて開催しました。



令和4年度担当者会

令和4年11月30日、12月1日の2日間、広島県広島市にて、瀬戸内・海の路ネット
ワーク推進協議会 令和4年度担当者会を3年ぶりに対面形式で開催し、会員で
ある各自治体及び各地方整備局の担当者等、約90名が参加しました。11月30日の
会議においては、総括事務局(中国地方整備局)、各実行委員会事務局(四国、近
畿、九州の各地方整備局)より令和4年度の事業報告、令和5年度の活動方針の提
案等について説明があり、これに対して活発な議論が行われました。また、12月1日
には平和記念資料館や宮島口旅客ターミナルの現地視察を行いました。

担当者会の開会にあたり、開催地を代表して、広島市都市整備局みなと振興課
長で、当協議会の幹事長でもある山縣真紀子課長より、「本協議会が、瀬戸内海1円
をつなぐ組織として、瀬戸内海全体の更なる振興を図っていく重要な原動力となる
べく、本担当者が有意義なものになるよう祈念いたします。また、12月1日の現地
視察については、廿日市市さんの協力も得て、原爆ドームから宮島口まで世界遺産
航路を含めた企画をいたしました。まさに海の路のネットワークということで、協議
会の趣旨にも合っているものと考えております。本日から2日間、よろしくお願い申
し上げます。」と挨拶がありました。

また、「広島を代表する港である広島港は、全国に18港ある国際拠点港湾の二
に位置付けられており、多くの人々が利用する島しょ部・四国との定期旅客航路や、
国内外との定期コンテナ航路が開設され、貿易・国内流通・海上交通の拠点として
圏域経済を支える重要な役割を果たしています。現在、広島港の港湾管理者であ
る広島県において、広島港宇品地区での大型クルーズ船の受け入れ態勢の拡充が進
められており、令和6年には新しいクルーズターミナルができる予定です。」と広島
港について紹介がありました。



担当者会開催状況

●瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和4年度総会資料
https://www.uminet.jp/img/info/info_20220715_115515.pdf



資料はコチラから

■全体会議

全体会議第2部では、令和4年度の活動報告として事務局より「瀬戸内海活性化活動支援」、「瀬戸内海クルーズ推進活動支援」、「海ネットサポーター提案事業」、「海ネットイベントプランコンテスト」等の各支援事業の申請状況や実施済み事業の報告、瀬戸内海クルーズ推進会議の活動報告等が行われました。

全体会議第2部は、「魅力検討委員会」「環境事業委員会」「情報発信委員会」「防災委員会」の各実行委員会における議論概要は次項のとおり（の概要に関する報告、令和5年度の活動計画に関する提案がなされました）。

■魅力検討委員会

魅力検討委員会では、令和4年度の活動状況と令和5年度活動方針について議論しました。

令和4年度活動報告として、「海ネットイベントプランコンテスト」、「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」に関して報告を行うとともに、優良事例を会員間で共有するため各事業の事例集を作成することを確認しました。

令和5年度活動方針として瀬戸内海の特徴を活かしたイベントへの積極的な支援や、瀬戸内海の魅力の発信と会員相互間の交流・連携推進により、瀬戸内・海の路の利用促進を図ることを確認しました。

加えて、令和5年度以降に延期されるイベントも含め「海ネットイベントプランコンテスト」の受賞事業、会員と海ネットサポーターが連携した「海ネットサポーター提案事業」のほか、「瀬戸内海・海の路利用振興事業」においては、令和3年度から新たに支援している「係留施設利用手続きの電子化の提案事業」も継続的に実施していくこととしました。



■環境事業委員会

環境事業委員会では、事務局より令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動方針について提案を行い、その後、主要事業として継続実施している「リフレッシュ瀬戸内」のあり方について意見交換を行いました。

事務局より、令和4年度の活動報告として、新型コロナウイルス感染症流行後はじめ、各地域において、感染症対策を行いつつ、制限を設けず「リフレッシュ瀬戸内」を開催し、209箇所・約2万1千人のボランティアにより、約115トンのゴミを回収したことを報告しました。また、全体拠点地の和歌山市においては、小学生以下を対象に回収したゴミの処理方法やリサイクルについて説明を行い、環境関連グッズの配布するなど環境保護啓発活動を実施した旨も併せて報告しました。これに対し、委員会メンバーより、回収したゴミの量と参加人数の推移を確認すると全体的にゴミの量が減っているという意見や、民間の方や地元自治会等が事前に独自で清掃を行っているという意見がありました。また、同じく新型コロナウイルス感染症流行後はじめて、3年ぶりに「海の健康診断調査」を実施したことを報告しました。

令和5年度の活動方針としては、更なる参加者の増加を目標として、ポスター・HP等での宣伝活動を行うほか、効果的な宣伝活動の1つとして環境関連行事等との連携活動を実施し、より効果的な宣伝活動を行った場合は、費用の一部を協議会から支援し、活動を助成することを確認しました。

「リフレッシュ瀬戸内」のあり方についての意見交換において、3年ぶりに開催した会員自治体より、感染者増加により迷いはあったものの、経済活動再開の観点から実施を決定し、各位に参加を呼びかけ、コロナ前同様の規模で開催することができたと前向きな意見がありました。他の会員自治体より、海岸沿いの公園にあるカフェと連携した清掃活動を検討していること、地元漁協と連携して実施するよう考えたものの別途実施されていたため実現に至らなかったこと等の紹介もありました。また、参加者増加につながる取り組みとして、全体拠点地において実施した環境保護啓発活動についての具体的な広報や準備方法、活動状況等を共有しました。令和5年度も引き続き、「リフレッシュ瀬戸内」及び「海の健康診断調査」を継続していきます。

■情報発信委員会

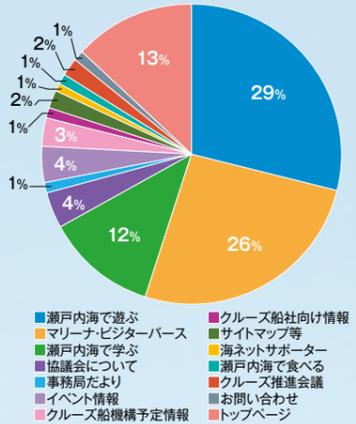
情報発信委員会では、活動方針として海ネットの活動の成果などを効果的に情報発信するとともに、より多くの方々に瀬戸内の魅力を認識し、興味をもってもらえるような情報発信を目指していくことを確認しました。

令和4年度は、各地のイベントの年間予定を予め集約した上でその情報をもとにイベント情報の掲載を促すなど情報発信の強化に取り組みました。また、WEBサイト「海の路」が官公庁・企業・個人に紹介、拡散されるよう当サイトのQRコードのダウンロードページを作成するとともに各会員にQRコードの活用を促しました。

また、当サイトの閲覧状況を分析するとアクセス数は増加しているものの閲覧されているコンテンツに偏りがあり、情報量の少なさに課題があることを共有しました。

意見交換では、コンテンツの充実が引き続き必要であるものの、当サイトの閲覧者が増えるのではないかといった意見を追加すると更に閲覧が増えるのではないかとといった意見や、新規閲覧者の獲得のためには、SNS（Instagram等）による情報発信が必要ではないかといった意見があり、令和5年度に向けて検討を進めていくことを確認しました。

ページ別閲覧割合 (R3.10月~R4.9月)



「瀬戸内海で遊ぶ」、「マリーナ・ビジターパス」、「瀬戸内海で学ぶ」の上位3位コンテンツで全体の70%弱を占めている。「瀬戸内海で遊ぶ」、「瀬戸内海で学ぶ」の閲覧は多いが、「瀬戸内海で食べる」の閲覧は少ない。「イベント情報」の閲覧が少ない。

■防災委員会

防災委員会では、令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動方針について議論を行いました。

令和4年度の活動報告としては、①防災委員会活動内容等の情報発信について、②防災対策推進活動支援事業の制度の周知について、③実効性の確保に関わる活動（情報伝達訓練）について報告を行いました。

①情報発信については、WEBサイト「海の路」を利用し、防災委員会の活動計画を掲載している点について報告しました。また、令和4年度の新規協定締結について、兵庫県加古川市が新たに加入したことを報告しました。（現在78会員）

②防災対策推進活動支援事業の制度について、WEBサイト「海の路」を通じて広報活動を行っていることを報告したほか、当制度の利用を呼びかけました。

令和4年1月下旬に情報伝達訓練の実施を予定していること、また、アンケート結果を踏まえた反省点や意見については取りまとめ次第共有することを報告しました。

令和5年度の活動方針としては、引き続き締結会員の拡大を図り、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定第12条協定の実効性の確保」に向けての訓練を実施し、さらに協定会員を含めた海ネット会員による「防災対策推進活動支援事業」が広く活用されるよう広報を行うことを確認しました。

■現地視察

翌日12月1日は、開催地の広島市及び廿日市市の案内による現地視察を行いました。はじめに広島平和記念資料館を訪問し、その後、「ひろしま世界遺産航路」でも使用されている高速船に乗り、元安川棧橋（原爆ドーム前）より宮島口まで移動する間、川辺のまちづくりや広島港コンテナターミナル、瀬戸内海の島々等を船上より視察しました。

下船後には、宮島口地区の再整備の一環で2020年にリニューアルオープンした宮島口旅客ターミナルを視察し、整備事業の概要やターミナルの利用状況について紹介があり、参加者にとって有意義なものになりました。



広島湾等船上視察



宮島口旅客ターミナル視察

令和4年度 活動報告

魅力検討委員会活動

「海ネットイベントプランコンテスト」の実施

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承、瀬戸内ブランドの価値の向上などを目的とした、オリジナリティ溢れる地域活性化イベント等への支援を拡充するため「海ネットイベントプランコンテスト」を実施しています。

「海ネットイベントプランコンテスト」は、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、会員による投票により支援対象イベントを決定、各賞に合わせた支援を行うものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果を期待するものです。

なお、令和4年度に実施予定であった令和2年度受賞イベント2件及び令和4年度受賞イベント1件については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年度に延期することとなりました。



開催記念撮影

最優秀賞

第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜

会員：八幡浜市(愛媛県)

開催日：令和4年11月12日(土)・13日(日)

内容：Sea級グルメ全国大会は、人々の賑わいや交流を創出するみなとの施設である「みなとオアシス」において、全国の「みなとオアシス」で活動する団体が連携し、食を通じたイベントを開催することにより、その知名度の向上と利用促進を図り、かつ、みなとを活用した地域の活性化を支援することを目的に開催している大会です。平成23年第1回大会より毎年開催しており、令和元年度までに12回開催されています。(令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

令和4年11月、四国西部と九州を結ぶ海の玄関口で、その海上交通の要所である八幡浜港に立地する「みなとオアシス八幡浜みなと」において、四国初開催となるSea級グルメ全国大会を開催しました。本大会は新型コロナウイルス感染症流行後、はじめての開催ということもあり、北海道から鹿児島まで、全国各地から過去最大となる27オアシスと約3.5万人の来場者で賑わい、地域の経済効果、みなとオアシスの知名度向上に繋がりました。



多くの来場者で賑わう会場の様子

優秀賞

令和4年度 北九州港開港記念イベント

会員：北九州市(福岡県)

開催日：令和4年10月29日(土)・30日(日)

内容：北九州港は、構成港である門司港が明治22年に国の特別輸送港に指定されたことから、令和元年に130周年を迎えたことを記念して、みなとオアシス門司港の登録や各種イベントを行い、多くの方と共に開港記念を盛大に祝いました。この周年事業の効果を一過性に終わらせることなく、今後も維持発展させていくために、毎年開港記念日に合わせ「みなと」をテーマにしたイベントを実施しております。

みなとオアシス登録4年目に当たる令和4年度は、10月29日(土)から1か月間を開港記念月間とし、みなとの賑わい創出を目的とした様々なイベントを実施しました。10月29日・30日に開催されたメインイベントでは、約2.6万人が来場し、参加者からは「港を核とした賑わいづくりは地域にとって重要なものですので、引き続き取り組んで盛り上げてほしい。」との声もあるなど大変好評でした。



働く船舶・大集合!withスナQ



福岡県内では初となる「パーティーバイク」の運航

最優秀賞

関門橋開通50周年記念イベント みなとの魅力再発見事業

(福岡県北九州市)

優秀賞

第3回 市民おさかな感謝デー

(大分県中津市)

また、令和5年度のイベントプランを募集し、全会員による審査投票の結果、次のとおり受賞企画が決定しました。

「瀬戸内のブランド化に向けた官民連携活動（海ネットサポーター提案事業）」

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成23年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の55団体から93団体（令和4年総会時点）にまで拡大しています。

「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携して瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、令和4年度は3件の事業を実施しました。

客船フェスタ2022

会員…神戸市 海ネットサポーター…一般財団法人神戸観光局

開催日…令和4年7月23日(土)

内容… より多くの市民にクルーズ客船や港の魅力を伝えることを目的に「客船フェスタ2022」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時クルーズ客船の運航は休止していましたが、現在は安心してクルーズを楽しんでもらえることを発信しました。多くの人が行き交う商業スペースでイベントを行うことで、通りがかりの人や今までクルーズに馴染みのなかったファミリー層など幅広い方にクルーズについての理解を深めて頂くことができました。



客船フェスタ2022 開催状況



大島瀬戸のうずしおクルーズ&体験ツアー

会員…柳井市 海ネットサポーター…大島観光協会

開催日…令和4年9月10日(土)

内容… 柳井市と海ネットサポーターである大島観光協会が連携し、柳井市周辺の「自然・歴史・食」すべての魅力を存分に感じてもらうためのツアーを実施しました。大島瀬戸のうずしおを間近でみることで海の雄大さを感じられるクルーズ体験や、地域の歴史を学べる書写・文香体験、自然豊かな柳井市周辺の魚介類を使った昼食などのコンテンツにより、参加者に地元の魅力を伝えました。



大島瀬戸のうずしおクルーズ&体験ツアー 開催状況

しものせきクルーズフェスタ2023

会員…下関市 海ネットサポーター…下関港湾協会

開催日…令和5年2月18日(土)

内容… クルーズの魅力や楽しさを多くの方に知ってもらうため、「しものせきクルーズフェスタ2023」を開催しました。当日は、子供から大人まで、初心者からクルーズファンまで様々な方が楽しめるよう、「クルーズ初心者入門」や「船社担当者おすすめ寄港地」等のトークイベント、クルーズPRブースの設置、クルーズ船社等のグッズが当たるクイズラリー&抽選会等を行いました。多くの来場者があり、本フェスタが今春の国際クルーズ再開に向けた気運醸成の一助になりました。



しものせきクルーズフェスタ2023 開催状況



案内チラシ

環境事業委員会活動

「リフレッシュ瀬戸内」の開催

「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会を広く一般に知ってもらうとともに、海浜の清掃活動という誰もが参加しやすい活動を通じて、美しい瀬戸内を守っていくことを、参加者はじめ、多くの人々に訴えていくことを目的に、協議会の骨格事業として取り組んでいる活動です。平成5年から始まった「リフレッシュ瀬戸内」は、令和4年度で29回目を迎えました。近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、令和4年度は3年ぶりの開催となった会場も多くありました。地域ごとに感染症対策を行ったうえ実施し、計209箇所において、およそ2万1千人のボランティアにより、約1.5トンのゴミを回収しました。

〔全体拠点〕和歌山ブロック

■和歌山市（加太海岸）

全体拠点地の和歌山県和歌山市では、6月19日（日）9時～10時にボランティア250人が参加し、約1.0トンのゴミを回収しました。また、清掃会場にブースを設け、小学生以下を対象に、回収したゴミの処理方法やリサイクルについて説明を行い、環境関連グッズの配布をするなど、環境保護啓発活動を実施しました。



参加者の声

地元以外の方にも参加していただき、ありがとうございます。日頃、この海岸でよく遊ぶので、綺麗になってうれしいです。この活動を知らしてもらい、ゴミの不法投棄をする人が減ったら嬉しい。子供に環境保護の大切さを学ばせる良い機会になりました。

〔ブロック拠点〕兵庫ブロック

■神戸市（三宮・元町周辺）メリケンパーク

3月25日（土）10時～17時、三宮・元町周辺メリケンパークにおいて、BEAMS、スターバックスコーヒーマリケンパーク店とコラボで清掃イベントを実施しました。378人の参加があり、約0.16トンのゴミを回収しました。参加特典として、販売できなかったTシャツにプリントを加えた、オリジナルTシャツも用意し、大好評でした。



参加者の声

いいきっかけになりました。こういうイベントをもっとやってほしい。きれいな景色にも目を凝らすと、たくさんのごみが落ちていることに気づくことができました。自分の住む神戸の街を綺麗にしたいと思い参加しました。楽しみながら環境問題に取り組めるのが良いです。

〔ブロック拠点〕大阪ブロック

■泉大津市（堺泉北港泉大津地区沿岸）

5月29日（日）8時～10時、堺泉北港泉大津地区沿岸において清掃活動を実施しました。316人の参加があり、約0.8トンのゴミを回収しました。



参加者の声

周辺の事業者さんと顔を合わせる機会とよかった。以前と比べると港湾エリアも綺麗になってきたと思っていたが、よく見るとゴミも結構ありますね。暑くなる前の時間帯なので、時間設定がよかった。

〔ブロック拠点〕岡山ブロック

■備前市（日生町五味の市周辺・頭島漁協周辺・外輪海岸）

7月3日（日）8時～11時、日生町五味の市周辺・頭島漁協周辺・外輪海岸において清掃活動を実施しました。82名の参加があり、約0.33トンのゴミを回収しました。



参加者の声

地元の海が綺麗になるとうれしい。年に一回だがあらためて貴重な機会だと感じた。1時間ほどの活動だったが、子供たちも楽しんでゴミ拾いをしてくれた。今後も参加していきたい。大きなタイヤが落ちていて驚いた。暑かったけど砂浜が綺麗になって気持ちよかった。日頃からよく来る場所にこんなにもゴミがあったのかと驚いた。ゴミを拾うだけだったが、思いのほか体力を使った。一人ひとりがゴミを捨てないようにする心がけの大切さを感じた。

海の健康診断調査

平成14年度から、「リフレッシュ瀬戸内」の実施期間に合わせて、「ゴミを捨てない」、「ゴミを捨てさせない」というゴミ排出抑制につながる予防的な取り組みを推進させるため「海の健康診断調査」（ゴミの組成調査）を実施しています。令和4年度は3年ぶりに実施し、計4箇所を調査しました。実施結果につきましては以下のとおりで、プラスチック類と発泡スチロール類で全体の9割以上を占める結果となっています。今後、より多くの場所で引き続き調査を行い、瀬戸内に住む人々のゴミに対する意識向上及び情報発信によるゴミ排出抑制に取り組んでいきます。



海の健康診断調査 開催状況

令和4年度「海の健康診断調査」9分類集計表

（単位：個数）

市町村	プラスチック類	発泡スチロール	金属	ゴム	木片（自然の物以外）	紙	ガラス類	布	複合素材	合計
和歌山市	18	3	0	0	0	0	0	0	0	21
玉野市	15	2	0	0	0	0	1	0	5	23
倉敷市	15	0	0	0	0	0	0	0	3	18
坂出市	65	167	0	0	0	0	3	0	2	237
合計	113	172	0	0	0	0	4	0	10	299

情報発信委員会

「WEBサイト「海の路」を利用した情報発信について

情報発信委員会では、WEBサイト「海の路」の閲覧者を増加させ、より多くの方々に瀬戸内の魅力を発信するために内容の充実を図っています。特に各会員自身により情報発信が可能なWEBサイトとなつているため、各地で開催されるイベント情報をはじめとして、各地の魅力を自由に発信することができます。

会員が必要なタイミングで情報発信できるよう、各地のイベントの年間予定を予め集約し、その情報をもとに当サイトへの掲載を促すなど、情報発信の強化に取り組みました。また、一部で古い情報が見受けられたため、

掲載内容のメンテナンスも行いました。

過去のアクセス状況を解析すると、月に約1万件の閲覧があり、閲覧数は年々増加傾向にあり、会員が発信する情報が閲覧者の目に留まる可能性も高まっています。また、「もっと見やすい、且つ、もっと見ていただける」を目的に、当サイトのQRコードのダウンロードページを追加し、当サイトのQRコードを活用しやすくしました。会員がQRコードを活用し、また拡散されることになれば、閲覧者の更なる増加、ひいては瀬戸内に興味を持つ人の増加が期待できます。



ダウンロードページはコチラから
*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



防災委員会

海ネット協定に基づく情報伝達訓練を実施

令和5年2月2日に「瀬戸内海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」の実効性の確保を目的に、協定締結共助会員78会員のうち66会員参加のもと、情報伝達訓練を行いました。本訓練は平成25年度から毎年実施(平成28年度は熊本地震、平成30年度は大阪北部地震、7月豪雨の影響で中止)しており、前回同様、情報伝達体制の確立と迅速な応援を重点項目として実施しました。今回の訓練では、兵庫県南部及び香川県東部を震源とする直下型地震が発生し、近畿・四国の6市町から応援要請があったことを想定して、協定締結会員間における物資支援の情報伝達方法について確認しました。

限られた時間の中で二連の流れを確認することから、各行程において短時間での作業が必要となります。応援とりまとめ幹事による応援会員と被災会員とのマッチング作業に時間と負担を大きく要することが以前からの課題でした。

今回は支援が開始されるまでの訓練に重点を置くこととし、受援後の処理部分を省略して作業時間の確保が図れるよう計画しました。メーリングリストでのやりとりや新様式の採用、WEB会議システム(Microsoft Teams)を使った情報共有なども新たに採用し、着実に訓練内容の充実が図られています。

また、訓練後に実施したアンケートにおいて把握された課題については、次年度以降の訓練内容に反映し、さらなる充実を図っていきます。

防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」(以下、「海ネット協定」)の締結会員間における防災ネットワーク機能の強化のための情報共有や、情報伝達訓練及び基礎的防災訓練等を行っています。

また、平成25年5月には「海ネット協定」が日本港湾協会企画賞を受賞しました。

防災対策推進活動支援

1 制度の概要

災害対策基本法に基づき、地域防災計画等により位置づけられている緊急物資輸送ルート等、陸路を活用した「防災訓練」のみならず、海の路を通じた人員・物資輸送ルート、被災者の緊急搬送ルート等を確認するための「防災訓練」を複数または単独で海ネット会員として実施し、防災ネットワーク機能の強化、協定締結会員の拡大を図るとともに、海ネット協定の実効性の確認を更に進めていく。

2 支援内容

- ・海ネットとして共催・後援することで、防災訓練を支援すること。
- ・必要に応じ、他の会員にも防災訓練への参加を呼びかけること。
- ・費用の全部、もしくは一部を海ネットから支援すること。(限度額40万円)。

3 支援要件

- ・海ネット会員が実施する海の路を通じた「防災訓練」であること。なお、情報伝達訓練のみの実施も可とする。
- ・訓練概要と内容を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会等を通じて会員各位へ報告すること。

令和4年度活動計画

- ①「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」について、引き続き締結会員の拡大を図るとともに、本委員会の活動内容等について積極的に情報発信を行う。
- ②「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第12条(協定の実効性の確保)に関する具体的な行動として、過年度の訓練やアンケート結果、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、訓練内容、実施体制や情報伝達の方法について検討する。また、「防災対策推進活動支援事業」が広く活用されるよう働きかける。

瀬戸内海クルーズ推進会議

「クルーズ船誘致活動(商談会)」

クルーズの本格的な再開に向けて、令和4年11月18日(金)に邦船社・外国船社・クルーズ船チャーターを行っている旅行会社・ランドオペレーター等の4社を招聘し、瀬戸内海クルーズ推進会議メンバーによる誘致活動(商談会)を開催しました。

これまでの取り組みにおいて、船社等より「寄港地を個別にはなく、複数の寄港地及び周辺エリアを包括的に提案してほしい」との意見があったことを踏まえ、招聘社には瀬戸内海を周遊するクルーズをイメージしてもらおうべく、新たな取り組みとして瀬戸内エリアを4つのブロックに分けて、各ブロックより誘致活動を行いました。

【開催日】 令和4年11月18日(金)

【場所】 TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前

【内容】 ①招聘社によるプレゼンテーション(午前)

②招聘者及び推進会議メンバーによる商談会(午後)

【参加者】 招聘社・商船三井客船、

シルバークルーズ、

阪急交通社、

東武トップツアーズ

推進会議メンバー・ブロック①〔和歌山県・徳島県・大阪府〕

ブロック②〔兵庫県・岡山県・香川県〕

ブロック③〔広島県・愛媛県〕

ブロック④〔山口県・福岡県・大分県〕



瀬戸内海クルーズ推進会議 商談会開催状況の様子

招聘社の主な発言

コロナ前に比べて、(屋内施設で密な環境を作らないようにした結果)船上から景色を楽しんでもらう機会が増えた今、寄港地のみでなく、夜間含め景色が楽しめる瀬戸内海は魅力的。寄港地では出発前にお土産が買われることが多く、岸壁での物産展開設は有効な手段。

11月15日に国際クルーズ再開に関するガイドラインが発出された。今後、各船社はこれに基づくプロトコルを作成し認証を受けた後に、寄港地との合意形成を図って再開という流れ。

最近、韓国もクルーズ船誘致に注力しており、今後は日韓の誘致競争になるかもしれない。瀬戸内海は通常のクルーズだけでなく、エクスペディションクルーズにも絶好のロケーション。

日本発着の大型船チャーター便は割安であり、予約状況も好調である。チャータークルーズは経費等と条件が合えば多様な地域に寄港できるチャンスがある。

地域それぞれの実状を認識して商品設計する必要があり、東京からのオペレーションだけでは限界がある。地元とのパートナーシップが非常に大切であり、皆さんと新しい商品の立案・実施することで地域の観光魅力度も高めたい。

瀬戸内海クルーズ推進会議 第7回全体会議

令和5年1月30日、アフターコロナにおける瀬戸内海クルーズの再興及び更なる振興を旨し、瀬戸内海クルーズ推進会議第7回全体会議をオンラインで開催しました。

会議には、近畿、四国、中国、九州地区より、瀬戸内海沿岸の自治体、国の機関、民間団体等の約100名が参加しました。

また、本会議後に開催された中国地方整備局主催のクルーズセミナーにも、多くの会員が参加し、2025年日本国際博覧会協会による大阪・関西万博に関するプレゼンテーション等を聴講するとともに、意見交換を行いました。

【開催日】 令和5年1月30日(月) オンライン会議

【概要】 「今年度の活動報告及び今後の予定」(事務局)

瀬戸内海クルーズ推進会議のこれまでの取り組み、今年度の活動報告、今後の進め方(案)について説明しました。

「最近のクルーズの動向について」(国土交通省 港湾局)

国際クルーズ受け入れ再開に向けたガイドラインの準備状況、クルーズ船社と寄港予定先の関係者との協議等、再開に向けたプロセスについて説明がありました。

「せとうちDMOの取り組み」(一般社団法人せとうち観光推進機構)

ウィズコロナにおける旅行形態の変化、高付加価値旅行市場の獲得シニア向上に資する高付加価値な観光地づくり等について説明がありました。

意見交換

広島県より、デジタル田園都市国家構想交付金により実施中の、観光型Maasを活用した実証事業について紹介がありました。

また、一般社団法人日本プロジェクト産業協議会より、「旅客船協会の参画」、「情報共有や相談受付等を担う窓口機能の強化」についての提案があり、瀬戸内海クルーズ推進会議として検討していくこととなりました。



瀬戸内海クルーズ推進会議 第7回全体会議の開催状況

活動支援報告

個別活動支援

海のふれあい事業

会員：播磨町

開催日：令和4年5月28日(土)

概要：公営のボート係留施設である播磨フィッシャリーナを活用し、体験学習を通して海の知識を子どもたちに知ってもらうことを目的に、新島一周クルージング体験、ヒラメ稚魚放流と水生生物の見学、海上保安庁による海上安全講習会等を行いました。



播磨フィッシャリーナ



水生生物の見学



ヒラメ稚魚の放流体験

ネットワーク活動支援

姫路港ふれあいフェスティバル

パイロットグループ：兵庫県、姫路市

開催日：令和4年10月23日(日)

概要：「みなとオアシス姫路」の構成施設である飾万津臨港公園及びその周辺において、地元の特産品やご当地グルメの提供、地域団体を中心としたステージ演奏等を催すとともに、岸壁周辺では、税関、海上保安庁の艦船の一般公開やミニクルーズを実施し、身近な港として親しんでもらうイベントを開催しました。



ステージイベント



姫路港ミニクルーズ



海上イベント(帆船みらいへ)



会場の様子

第10回広島みなとフェスタ

パイロットグループ：広島市、江田島市

開催日：令和5年3月18日(土)・19日(日)

概要：広島湾を挟んで隣接する広島市と江田島市がパイロットグループを形成し、第10回広島みなとフェスタを開催しました。地域団体等によるステージイベントのほか、巡視艇見学やシーパセオ体験乗船等の海上イベント、瀬戸内のまちや島の観光情報の発信、特産品販売、ボートライセンス体験等の体験イベント、Sea級グルメ等の飲食販売等を通じ、日ごろ港を利用しない人々も集客し、海やみなどの魅力をPRしました。

クルーズ船等寄港地歓迎イベント支援

「にっぽん丸」寄港歓迎事業

会場…香川県小豆郡小豆島町

開催日…令和4年11月14日(月)

概要…クルーズ客船「にっぽん丸」が「秋の絶景クルーズ」で小豆島(坂手港)に寄港し、歓迎行事を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら予定していた地元園児の鼓笛演奏による歓迎は中止することとなりましたが、地元PRを目的に、客船及び乗船客に対する寄港記念品(地元特産品や絵はがき)の贈呈、臨時観光案内所の開設を行いました。



寄港記念品(地元特産品)贈呈



臨時観光案内所の設置

小豆島

香川県

高松港

「飛鳥II」寄港歓迎イベント

会場…香川県高松市

開催日…令和4年11月5日(土)・6日(日)

概要…クルーズ客船「飛鳥II」が高松港に寄港した際、約300名の乗船客に対し、歓迎行事を実施しました。内容は、地元ダンススタジオによるダンスパフォーマンス、地元高校生による書道パフォーマンスや地元JAZZバンドによるJAZZ演奏でおもてなしを行うとともに、臨時観光案内所や土産物販売店を設置し、地元PRを行いました。



臨時観光案内所の設置



地元ダンススタジオ生徒によるおもてなし

「飛鳥II」寄港歓迎イベント

会場…大分県中津市

開催日…令和4年7月11日(月)

概要…クルーズ客船「飛鳥II」の中津港寄港の歓迎イベントとして、地元こども園の園児による鼓笛演奏や、ゆるキャラによる歓迎を行うとともに、観光案内所や物産展を開設し、中津の名所や名産物を乗船客に紹介しました。出港時には地元高校生による吹奏楽演奏を行い、「飛鳥II」を見送りました。



園児の鼓笛隊による歓迎



高校生の吹奏楽演奏による見送り

広島県

山口県

中津港

大分県



地元高校生による書道パフォーマンス